

2019年度事業計画書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

公益社団法人 顔と心と体研究会

1. 事業活動の概要

年100回以上のメイクボランティア訪問、及びメイクボランティア講習会・メイク講座の開催により、メイクを通じた社会貢献活動の拡大を目指すとともに、訪問先施設の協力を得て、メイクの効果に関する調査研究を行い、化粧の効果を科学的に実証することを試みる。研究成果をホームページ等で発表し、化粧の社会的地位の向上を目指す。

メンタルメイクセラピスト®資格認証事業に関し、教科書の発行、下級の試験の実施、医療機関・教育機関へのアプローチを通じ、メンタルメイクセラピーの普及を目指し、外観に関して問題を抱える患者や高齢者に対するメイクの提供によるその社会参加・社会復帰への支援を行う。

2. 事業活動の内容

(1) メイクボランティア訪問・メイクボランティア講習会・メイク講座

(ア) メイクボランティア訪問

年100回以上のメイクボランティア訪問を実施する。

(イ) メイクボランティア講習会

メイクボランティアの養成、員数の拡大、及び正会員の増加を目指して、東京、大阪及び地方都市1ヶ所で年4回程度開催する。

また、メイクスクールを卒業した会員以外の更なるメイク技術の向上を目指し、スキルアップ講習会以上のレベルアップ講習会やボランティア意見交換会なども行なう他、近年減少傾向にあるメイクボランティアリーダーの増加も目指す。

(ウ) メイク講座

- 更正保護法人「両全会」でのメイク講座

「両全会」に入居する自立を目指す女性に対して、「メイクの効果」についての講演や、就職支援を目的としたセルフメイク講座を実施する。

2019年4月15日（講演）、7月22日、10月21日、2020年1月を予定

- NHK文化センター等の学習機関、行政機関、教育機関等の依頼に応じて適宜開催する。

(2) 調査研究活動

(ア) 化粧によるストレス軽減効果に関する長期的観察

肢体不自由児を持つ母親に対する化粧の効果について、平成 28 年 3 月まで、グループ毎に 1 年間にわたる観察を行い、その成果について、平成 28 年 10 月開催のシンポジウムで発表した。今後も、身体障がい・知的障がい等を持つ母親への化粧の効果について、機会を捉えて調査し、データを集積していく。

- (イ) 「社会的支援を必要とする高齢者へのメイクアップを用いた高齢者・支援者双方の QOL 向上の試み」

(文化学園大学 応用健康心理学研究室 精神保健学 佐藤浩信准教授との共同研究)

メイクの高齢者への効果を数値データで測ることを試みる一方、高齢者にメイクを提供したボランティアについて、生きがい感、自尊感情、ストレス認知などの変化をアンケートなど、複数のデータ収集方法により調査する。

高齢者に関するデータについては、これまで 70~80 例について収集したので、これをまとめて今年度内に何らかの発表を行う他、ボランティアならびに施設職員へのデータ収集については調査を継続し、データを収集する。

- (3) 普及啓発活動・情報誌等発行业

- (ア) 公開講座・シンポジウムの開催

化粧が与える効果を広く一般人に対して普及啓発するために、「顔と心と体」のつながりをテーマとして公開講座又はシンポジウムを開催する。2019 年 10 月 19 日に開催予定。

- (イ) 会報誌の発行・ホームページの更新

当法人の活動状況について周知させるため、会報誌を年 4 回発行し、会員及び医療機関・高齢者施設・公共機関等に配布する。

ホームページの更新を最低月 1 回、月間アクセス 1,000 を目指す。

- (4) メンタルメイクセラピスト[®]資格認証事業

「メンタルメイクセラピスト」資格認証制度について、公式テキストの発行、3・4 級試験の実施、ウェブベースの 4 級試験の実施、医療機関・教育機関への継続的なアプローチを行う。

また、制度発足前認定試験にて認定した 1 級資格者を対象とした講習会(セミナー)を開催する。

- (5) その他

- (ア) 理事会

以下の日程で開催を予定する。

5月30日(木) 事業報告・決算承認、社員総会招集

11月 活動状況報告

また、必要に応じ、適宜理事会を開催する予定。

(イ) 社員総会

2019年6月21日(金)(予定) 事業報告・決算承認のために開催予定

(ウ) 規約規程

「謝金規程」等を制定予定

(エ) 活動財源

メイクボランティア等の事業収益、会費、寄附金、検定受験料、テキスト販売代金等を充当する予定

以上

2019年度 収支予算書
2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	2019年度予算合計	当年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	1,285,000	1,285,000	0
正会員受取会費	1,200,000	1,200,000	0
賛助会員受取会費	85,000	85,000	0
事業収益	1,880,000	1,620,000	260,000
公開講座・シンポジウム事業収益	0	0	0
メイクボランティア事業収益	500,000	500,000	0
メイク講座事業収益	200,000	200,000	0
検定事業収益	1,180,000	920,000	260,000
受取寄付金	27,052,000	18,276,000	8,776,000
受取寄付金	27,052,000	18,276,000	8,776,000
雑収益	0	0	0
雑受取利息	0	0	0
雑収益	0	0	0
経常収益計	30,217,000	21,181,000	9,036,000
(2) 経常費用			
事業費	25,272,000	16,516,000	
給料手当当費	9,580,000	9,500,000	80,000
福利厚生費	650,000	500,000	150,000
会議交通費	95,000	95,000	0
旅費	540,000	440,000	100,000
通信費	500,000	500,000	0
消耗品費	400,000	300,000	100,000
印刷製本費	9,360,000	450,000	8,910,000
印賃借料	364,000	476,000	-112,000
諸謝外託料金	1,448,000	2,720,000	-1,272,000
渉支手数料	520,000	520,000	0
委託手数料	1,800,000	300,000	1,500,000
新刊図書費	5,000	5,000	0
雑費	10,000	10,000	0
管理費	0	700,000	-700,000
給料手当当費	4,945,000	4,665,000	280,000
福利厚生費	1,375,000	1,375,000	0
会議交通費	120,000	120,000	0
旅費	110,000	110,000	0
通信費	200,000	200,000	0
減価償却費	150,000	150,000	0
消耗品費	70,000	0	70,000
印刷製本費	250,000	250,000	0
光熱水料	100,000	100,000	0
賃借料	200,000	200,000	0
租税公課	1,600,000	1,300,000	300,000
委託手数料	5,000	5,000	0
支手数	760,000	850,000	-90,000
雑費	5,000	5,000	0
経常費用計	30,217,000	21,181,000	9,036,000
評価損益等調整前当期経常増減額			
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	0